

1 「真摯に学ぶ生徒」にするために

(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。

- ①教師自身が指導内容について研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底を図ります。
- ②反復学習、小テスト、ワークシート、パフォーマンステスト等、定着方法の工夫を図ります。
- ③深谷スタイルに基づき、生徒の特性を配慮した掲示や板書の工夫を図ります。
- ④学校総合支援員、中学校学習支援員を中核に、ステップアップレッスンの充実を図ると共に、放課後や長期休業中に基礎的・基本的な学習内容の補充学習を行います。

(2) 知識・技能を基に、アクティブラーニングで思考力、判断力、表現力等を育成します。

- ⑤教師自身が指導内容について研究し、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑥各教科とも、アクティブラーニングを取り入れ、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑦授業スタンダードや授業ベーシックを基盤に、レポート作成、推敲、討論・発表等を工夫し、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑧生徒相互による「学び愛」「教え愛」活動を行い、思考力、判断力、表現力の育成します。

(3) 学習意欲を向上させ、学習習慣の充実を図ります。

- ⑨系統的なキャリア教育として、1年生での「座右の銘」、2年生での「職場体験」や「立志式」を中核にして夢やあこがれ、学ぶ意義の具現化を図り、生涯に繋がる学習習慣を育成します。
- ⑩「学びゲーショ」を活用し、学習習慣の確立を図り、家庭学習の充実を図ります。
- ⑪生徒による授業評価を実施し、R-P-D-C-A サイクルを生かした授業改善を行います。

2 「心を磨く生徒」を育成するために

(1) 道徳や特別活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑫道徳や特別活動を主体に、キャリア意識の発達と豊かな人間性を育成し「心を磨く生徒」を育てます
- ⑬教師の話や友達の発表をしっかりと聞き、はっきりした声で発表できる生徒を育成します。
- ⑭生徒のキャリア意識の発達を図り、希望と忍耐力を持って着実にやり抜く強い精神力を育成します。
- ⑮学校行事や体験活動を重視し、生徒の主体性や自律性を高めるとともに、団結力・協調性などを育成し、達成感を味わわせます。

(2) あいさつや無言清掃で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑯「時・場・礼」と「あいさつ日本一」の取組を推進し、「心を磨く生徒」を育成します。
- ⑰校内はもとより、地域でも積極的なあいさつを励行し、「心を磨く生徒」を育成します。
- ⑱無言清掃を心を磨く時間と位置づけ、勤労や奉仕に対する好ましい価値観を育成します。
- ⑲毎週月曜日を「クリーン MONDAY」とし、5分間の清掃に対する心構えの時間を特設し、心を磨く清掃活動を実践します。

(3) 生徒会活動や部活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑳生徒会本部や専門委員会を中心に、ありがとう運動など「心を磨く」活動を計画・実践します。
- ㉑福祉委員会が核となり社会福祉協議会と連携し、奉仕活動や公共の福祉の活動を実践します。
- ㉒「HAPPY FRIDAY」を通し、感謝の気持ちと、部活動規律を高めます。
- ㉓日々の練習を通し、チームワークや不撓不屈の精神や克己心等を育成します。

(4) 家庭・地域との連携で「心を磨く生徒」を育成します。

- ㉔家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立させ「心を磨く生徒」を育成します。
- ㉕公民館運営審議会、青少年健全育成会議、自治会長会議等に参加し、健全育成に関し学校と地域の協力体制を向上させます。
- ㉖学校応援団や親父の会の安心安全支援部や花中サポートチームと協力し、青少年健全育成を図ります。
- ㉗家庭での正しいメディアの活用を図るため、HQC とメディアコントロールの取り組みを推進します。

3 「体を鍛える生徒」にするために

(1) 新体力テストの結果から弱点を克服し、体力づくりに努めます。

- ㊸新体力テストの結果を分析し、生徒の弱点を洗い出し、その克服に努めます
- ㊹体力向上に向け、運動の喜びや楽しさを味わわせ、体力を高める授業の工夫をします。
- ㊺部活動は、地域や各種団体との連携を工夫し、体力、責任感、連帯感等が涵養できるよう取り組みます。

(2) 意図的・継続的に健康・安全教育を推進します。

- ㊻基本的な生活習慣を確立すると共に、養護教諭の T.T による健康教育の増進を進めます。
- ㊼HQCやメディアコントロールを活用し、「安心ふっかネット」を遵守させ、心身の健康を推進します。
- ㊽自転車の安全運転の徹底と部活動の適切な指導により、交通事故及び部活動事故の絶無を目指します。

(3) 「立腰教育」とあいさつの励行により、心と体を鍛えます。

- ㊾授業の開始時に、腰骨を立て顎を引き、正しい姿勢で授業が受けられるよう指導を徹底します。
- ㊿教室で絵図等を掲示し、立腰教育の見える化を実践します。
- ㊽〇「あいさつ日本一」の取組を小学校、公民館、自治会と連携し、地域ぐるみの取組に広がります。

4 「信頼される学校」にするために

(1) 自己研鑽に励み、信頼される職員集団を形成します。

- ㊿「深谷の子6つのちかい」を基盤に、夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある花園の子の育成に努めます。(夢・勉強・体験・あいさつ・くつそろえ・心のこもったことば)
- ㊽学校研究課題に基づいた研究・研修を行うと共に、定期的に職員相互の授業参観を実施し、組織的な教育力の向上を図ります。
- ㊽年間のシラバス(学習内容・計画・評価)を配布し、家庭との連携に努めます。
- ㊽倫理確立委員会を中核に、適切な資料提供を行い、職員による事故の絶無を目指します。

(2) 組織マネジメント(R-P-D-C-Aサイクル)を活用し、信頼される学校を目指します。

- ㊽学校運営協議会委員・生徒・保護者・教職員による学校評価を実施し、ホームページ等で報告するなど学校の説明責任を果たすと共に、計画的・組織的に改善策を講じます。
- ㊽教師による花園中・教育公約の評価を年2回行い、R-P-D-C-Aサイクルによる校教育目標の実現を図ります。

(3) 地域連携を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進します。

- ㊽自治会長、民生委員、児童委員、更生保護女性会、学校応援団等との連携を深め、地域と連携した教育を推進します。
- ㊽学校だよりやPTA新聞等を適時発行し、学校の教育活動や生徒の様子を家庭・地域へ発信します。
- ㊽生徒の個人情報に配慮しつつ、学校だより、ホームページを随時更新し、適切な情報発信に努めます。

(4) 教育環境を整備し、安心・安全な学校づくりに努めます。

- ㊽定期的な安全点検により危険箇所を根絶すると共に、危機管理マニュアルによる安心・安全な学校づくりに努めます。
- ㊽「緊急連絡ページ」の運用率100%を目指し、危機管理を徹底します。
- ㊽PTAや学校応援団の協力により、年3回の環境整備を実施し、教育環境を整えます。
- ㊽防災マニュアルを見直し、直下型地震や竜巻・暴風雪等に備えた実践的なものにします。
- ㊽いじめ防止対策委員会を中心に、日々の情報収集を行い、いじめの絶無を目指します。